

脊椎脊髄疾患に対する自由診療に関する学会声明

「脊椎脊髄疾患に対する自由診療」に対して、当学会の考えについて専門委員会にて審議を重ね、理事会にて承認を得ましたので、下記の通り学会声明として発表いたします。

【基本方針】

1. 特定の手術・手技に限定するものではなく、脊椎脊髄手術全般を対象とするものであること。
2. 日本脊髄外科学会（NSJ）単独で表明するものであること。
3. 自由診療が実施された場合には、当該患者に対して保険診療との併用が認められなくなることを強調する立場をとるものであること。

【患者さんへの重要なお知らせ】

近年、腰部脊柱管狭窄症や腰椎椎間板ヘルニアをはじめとする脊椎脊髄疾患に対し、自由（自費）診療を用いた治療が増えています。自由診療には、新たな治療の選択肢を提供する可能性がある一方で、科学的根拠が十分に確認されていない治療や、高額な費用負担など、慎重に検討すべき点も多く含まれます。患者さんが安全で適切な治療を受けるために、本学会として以下の点をお伝えいたします。

1. 標準治療（保険診療）の重要性

標準治療とは、科学的根拠に基づき、有効性と安全性が確認された治療法です。現在、脊椎脊髄疾患の治療には、多くの専門家が推奨するガイドラインに基づいた標準治療が確立されています。標準治療は公的医療保険（健康保険）が適用され、患者側の負担を抑えながら適切な医療を受けることができます。

2. 自由診療のリスクと注意点

自由診療は、標準治療とは異なる新たな治療を提供する可能性がありますが、以下のリスクが伴うことを理解することが重要です。

【※】なお、自由診療は「高度先進医療」とは異なり、厚生労働省が定めた認定制度に基づくものではなく、公的医療保険との併用も認められていません。

（１）科学的根拠が不確実な治療が含まれる

自由診療の中には、十分な臨床試験が行われていない治療が含まれており、安全性や効果が確認されていない場合があります。

（２）高額な費用負担

自由診療は公的医療保険が適用されず、全額自己負担となるため、患者さんの経済的負担が大きくなります。

（３）混合診療の禁止

自由診療を受けた場合、その治療に関連する保険診療が適用されず、万が一合併症が発生しても、その治療費は自己負担となる可能性があります。

（４）最適な治療機会の損失

自由診療を受けている間に病状が進行し、標準治療が受けられなくなるリスクがあります。

（５）誇張された広告や宣伝に注意

「海外で行われている」「劇的な改善が期待できる」など、科学的根拠に基づかない誇張表現が用いられている場合があります。情報の信頼性を十分に確認することが大切です。

3. 自由診療を選択する前に確認すべきポイント

患者さんが治療を選択する際には、以下の点を慎重に検討してください。

- その治療の安全性・有効性は科学的に証明されているか？
- 自分の病状に対して、専門家が認める適切な治療か？
- 標準治療との違いやメリット・デメリットを十分に説明されたか？
- 治療のリスクや限界について理解できたか？
- 医療機関や医師が営利目的で治療を勧めていないか？
- 専門医（脊髄外科技術認定医・指導医、脊椎脊髄外科専門医）に相談したか（セカンドオピニオン）？

4. まとめ：慎重な判断を

自由診療は、標準治療を補う可能性がある一方で、適切に運用されなければ患者側に不利益をもたらすことがあります。本学会は、患者さんが安全で適切な治療を受けられるよう、引き続き慎重に対応してまいります。自由診療を検討する際には、十分な情報を得た上で慎重に判断し、必要に応じてセカンドオピニオンを求めることを強く推奨いたします。患者さんの健康と安全のために、適切な医療の選択をお願いいたします。

2025 年 5 月 27 日
一般社団法人日本脊髄外科学会